

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名	防鏽潤滑剤 強力防鏽 低臭タイプ
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	工業用一般
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。
整理番号	M251009

### 2. 危険有害性の要約

#### 化学品のGHS分類

物理化学的危険性	エアゾール 区分1
健康有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(循環器系)
	特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(中枢神経系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3
	水生環境有害性 長期(慢性) 区分3
	上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

##### 危険有害性情報

##### 危険

H222 極めて可燃性の高いエアゾール

H229 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H370 循環器系の障害

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

##### 注意書き

##### 安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)

裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211)

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)

環境への放出を避けること。(P273)

応急措置	吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。(P308+P311) 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
保管	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233) 施錠して保管すること。(P405) 日光から遮断し、50 °C以上の温度にはばく露しないこと。(P410+P412)
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	混合物		CAS番号
			官報公示整理番号 化審法	官報公示整理番号 安衛法	
石油系溶剤	30.0～50.0%	不明	不明	不明	非公表
鉱油	10.0～20.0%	不明	非公表	不明	8042-47-5
添加剤	10.0%未満	不明	不明	不明	非公表
2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール	1.0%未満	不明	(3)-540,(9)-1805	不明	128-37-0
プロパン(LPG)	25.0～30.0%	不明	(2)-4	不明	106-97-8 75-28-5

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。

#### 飲み込んだ場合

口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。

#### 眼に入った場合

水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合固着してなければ外す。  
十分洗浄後、医師の手当を受ける。

#### 皮膚にかかった場合

水と石けんで十分、洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。  
腫れ、痛みが生じる場合、医師の手当を受ける。

### 5. 火災時の措置

#### 消火方法

速やかに容器を安全な場所に移す。  
風上から消火する。  
消火に棒状の水を使用してはならない。  
初期の消火には下記の消火剤を用いる。

#### 消火剤

炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

### 6. 漏出時の措置

漏出時の措置	保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壤、河川、湖沼、海域、下水道等に流入しないように注意する。 浸透性及び揮発性があるので、付近の着火源になるものは速やかに取り除く。
--------	---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。

取り扱い	熱、火花、火炎、高温のものから遠ざける。 40°C以上の場所では取り扱わない 必要に応じて呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する。 屋外または通気性が良い場所で使用する。 常温で取り扱い、その際、蒸気の吸入、原液との接触に注意する。 使用後は手洗いを十分する。
------	---

## 保管

屋内の直射日光が当たらない涼しい場所で保管する。  
ふたを必ず密閉する  
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。

## 8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
鉱油	未設定	未設定	未設定
2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール	未設定	未設定	設定あり
ブタン	未設定	500ppm(1200mg/m <sup>3</sup> )	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
鉱油	未設定	未設定
2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール	10mg/m <sup>3</sup>	-
ブタン	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先 : <https://www.acgih.org/>

設備対策 排気装置を設けるか通気性を良くする。  
身体洗浄、うがいができる洗浄設備を設置する。

保護具 呼吸用保護具 長期間にわたって取り扱う場合は、防毒マスクを着用する。

眼の保護 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

手の保護	長時間、または繰り返し接触する場合、耐溶剤性の手袋を着用する。	
皮膚、身体の保護	長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。	
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>		
物理状態	エアゾール	
形状	液体	
色	黄褐色	
臭い	データなし	
融点／凝固点	データなし	
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし	
可燃性	データなし	
爆発下限界及び爆発上限界 下限 ／可燃限界	データなし	
引火点	データなし	
自然発火点	62°C (PM 密閉式)	
分解温度	データなし	
pH	データなし	
動粘性率	データなし	
溶解度	水に不溶	
n-オクタノール／水分配係数	データなし	
蒸気圧	データなし	
密度及び／又は相対密度	約0.81g/cm³(15°C)	
相対ガス密度	データなし	
粒子特性	データなし	
<b>10. 安定性及び反応性</b>		
反応性	通常の状態では安定。	
化学的安定性	情報なし	
危険有害反応可能性	情報なし	
避けるべき条件	熱、火花、その他の発火源。	
混触危険物質	強酸化剤との接触を避ける。	
危険有害な分解生成物	情報なし	
<b>11. 有害性情報</b>		
急性毒性	経口 急性毒性推定値が2450mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。  経皮 急性毒性推定値が2500mg/kgのため区分5とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分5から区分に該当しないに変更。  吸入 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。	

皮膚腐食性／皮膚刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
呼吸器感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
皮膚感作性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。 (生殖毒性)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 ※区分2は0.99%含まれる。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(循環器系)の成分が15%のため、区分1(循環器系)とした。 区分3(麻酔作用)の成分合計が30%のため、区分3(麻酔作用)とした。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。 区分1(中枢神経系)の成分が15%のため、区分1(中枢神経系)とした。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が99%のため、区分3とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が99%のため、区分3とした。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄物処理法に従って自ら処理するか、産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合、そこに委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	1950
品名	エアゾール
国連分類	クラス2.1

輸送時には「取扱いおよび保管上の注意」の項に記載した内容に留意するほか、容器に漏洩、破損のないことを確かめ、荷崩れを起こさないよう確実に積み込む。  
さらに関連法令に従った措置も講じる。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ブタン

鉱油

危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)

危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ブタン(安衛則別表第2の番号:1720)(20%~30%)(営業秘密)

鉱油(安衛則別表第2の番号:581)(10%~20%)(営業秘密)

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール(安衛則別表第2の番号:874)(5%未満)(営業秘密)

労働安全衛生法(表示・通知  
対象物質、がん原性物質)  
(令和8年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ブタン

鉱油

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ブタン(安衛則別表第2の番号:1720)(20%~30%)(営業秘密)

鉱油(安衛則別表第2の番号:581)(10%~20%)(営業秘密)

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール(安衛則別表第2の番号:874)(5%未満)(営業秘密)

労働安全衛生法(表示・通知  
対象物質、がん原性物質)  
(令和9年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

ブタン

鉱油

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

ブタン(安衛則別表第2の番号:1720)(20%~30%)(営業秘密)

鉱油(安衛則別表第2の番号:581)(10%~20%)(営業秘密)

2, 6-ジーターシャリーブチル-4-クレゾール(安衛則別表第2の番号:874)(5%未満)(営業秘密)

毒物及び劇物取締法  
化学物質排出把握管理促進  
法(PRTR法)

非該当

非該当

化審法  
消防法  
水質汚濁防止法  
大気汚染防止法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

第4類 引火性液体 第二石油類(非水溶性)

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法	油性混合物(施行規則第2条の2) 有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表第1第1号イ(81))
外国為替及び外國貿易法	有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出承認貨物・特定有害廃棄物等(法第48条第3項、輸出令第2条別表第2の35の2の項)
船舶安全法	高圧ガス(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	高圧ガス(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・高圧ガス(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)

## 16. その他の情報

### 参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイド

化学品ドキュメント管理プラットフォーム(CDPF) SDS作成システム「ChemValue.AUTHOR」により作成

### その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。